

第28回全国高等学校文化連盟将棋新人大会愛知県大会 報告

振替休日の11月4日(月)に、東海高校を会場に標記大会が行われた。高校将棋に取り組む者にとって、高校選手権、高校竜王戦と並んで、大きな目標となる大会である。参加資格は1、2年生のみで、男女それぞれの上位入賞者は全国大会に出場できる。

県大会は愛知県高校将棋連盟、愛知県高文連、日本将棋連盟東海普及連合会の共催で、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、愛知県私学協会の後援を受けている。

午後には中田章道七段をお迎えして、午前中に敗退した選手を対象に指導対局をしていただいた。二枚落を中心に、20人ほどが棋力に合った手合いで教わることができた。

以下、大会結果を簡単にお伝えする。

★ 男子個人戦

224名の申込に対して、県代表の枠は2名のみ。初戦から負けたら即敗退のトーナメント戦で、ベスト32で再抽選をして紅白16名ずつのトーナメントに分け、それぞれの優勝者を愛知県代表としている。ベスト32のうち東海と明和が6名と最多、岡崎の5名がそれに次ぐ。他にも旭丘3名、名電2名など、東海三県大会A級校の層の厚さが目立った。

[紅] 優勝 伊藤 悟 (明和2年)	[白] 優勝 伊藤 慧 (中部大春日丘1年)
準優勝 河合勇樹 (岡崎2年)	準優勝 森田修司 (大府東2年)
第3位 伊藤光祐 (明和2年)	第3位 中川悠理 (東海2年)

紅組決勝は昨年と同じカードである。早々に飛車交換になってからねじり合いが続いたが、最後は伊藤悟君が寄せ切って、雪辱を果たした。白組決勝では、初の上位進出となる森田君と高校竜王戦に続く県代表を狙う伊藤慧君が対戦、現代的な相振り飛車の戦型となり、互いに歩を巧みに使う好局だったが、終盤の速度争いを制した伊藤慧君が優勝を果たした。

★ 女子個人戦

6名が参加し、3名の代表枠をめぐる総当たりリーグ戦を行い、順位を決定した。

優勝 磯谷祐維 (中部大春日丘2年)
準優勝 大田暖乃 (名古屋大教育学部附属1年)
第3位 志田歩未 (南山女子部1年)

アマチュア女性の全国大会で優勝等の経験もある磯谷さんが、5戦全勝で2連覇を達成した。大田さんはその磯谷さんに敗れただけで、準優勝となった。

全国大会は2020年2月6日から福島県の穴原温泉で開催される。代表となった5名の選手の活躍に期待している。

(以上、日本将棋連盟東海普及連合会HPより抜粋)